

**平成21年3月期 第2四半期
会社説明資料**

平成20年11月

株式会社プラコ -
(J A S D A Q . 6347)

平成20年9月末現在

商号 株式会社 プラコ -

本社 埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田550番地

代表者 代表取締役会長兼社長 高寺 茂覚

設立 昭和35年8月

資本金 1,205百万円

売上高 3,522百万円(20年3月期実績)

従業員 87名

昭和35年8月	プラスチック工業（株）を創立。（資本金100万円）
昭和36年8月	埼玉県川口市に新工場を建設、押出機及びプロ - 成形機を本格的に生産開始。
昭和42年5月	東京都港区に本店を移転。
昭和45年5月	埼玉県岩槻市（現・埼玉県さいたま市岩槻区）に浦和工場を新設。
昭和47年1月	商号を株式会社プラコ - と改称。
昭和47年11月	埼玉県川口市に本店を移転。
昭和48年2月	日本証券業協会に店頭売買銘柄として登録。
昭和48年11月	株式額面変更の為、江東機工（株）と合併。
昭和55年5月	プラコ - エンジニアリング（株）設立。（機械部品加工会社、平成18年4月吸収合併）
昭和62年7月	静岡県掛川市に工場用地を取得。
昭和63年7月	埼玉県岩槻市（現・埼玉県さいたま市岩槻区）に本店を移転。
平成3年5月	静岡県掛川市に掛川工場を新設。
平成7年1月	（株）プラコーテクノサービス設立。（メンテナンス会社、平成18年4月吸収合併）
平成9年4月	リサイクル装置の生産、販売に本格参入し、リサイクル元年とする。
平成13年3月	埼玉県の彩の国指定工場に認定される。
平成16年12月	ジャスダック証券取引所に上場。
平成18年4月	4月1日付けをもって連結子会社2社を吸収合併。
平成20年5月	富拉鑫股份有限公司(台湾)設立。（機械製造会社）

1. インフレーション成形機事業

当部門において、フィルム製品（レジ袋、ゴミ袋、農ポリ、ラップ、多層、機能）を成形する為のインフレーション成形機を製造及び販売をしております。

2. ブロ成形機事業

当部門において、中空製品（自動車部品、工業用部品、日用雑貨品）を成形する為のブロ成形機を製造及び販売をしております。

3. リサイクル装置事業

当部門において、環境の一環でありますリサイクル装置（破砕機、洗浄機、乾燥機、造粒機等）を自社技術と一部を海外メーカーとの技術提携によって、製造及び販売をしております。

4. メンテナンス事業

当部門において、機械のメンテナンス及び部品の販売をしております。

**平成21年3月期 第2四半期
決算概要**

株式会社プラコ -
(J A S D A Q . 6347)

当第2四半期累計期間の業績は、プラスチック加工業界においては、原料の値上りにより引続き設備投資は慎重で厳しい状況でありました。また、環境リサイクル関連業界においては全般的には引続き成長が見込まれるものの、実際の現場においては回収された廃棄プラスチック、古紙などがリサイクル加工するよりも、中国向けに輸出されることが多く、社会的ニーズの高まり程には成長いたしませんでした。

売上高は納入機の検収の遅れや、大型機の手直し工事等が発生し、売上高が約400百万円近く第3四半期へずれたため、前年同期比21.0%減の1,386百万円となりました。また、損益面につきましては、売上高の減少及び原材料の値上りや売上計上基準の変更に伴う過年度有価証券報告書等の訂正報告書など作成のための費用の増加などにより、営業損失149百万円、経常損失180百万円、減損損失を特別損失として計上したため、四半期純損失553百万円となりました。

損益計算書（非連結）

（単位：百万円）

	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	前期比	備考
売上高	1,755	1,386	369	一部未検収分第3四半期へ売上繰延
売上原価	1,402	1,071	330	
販直費及び一般管理費	392	464	71	有価証券報告書等の訂正報告書作成費用増加
営業利益	39	149	111	
営業外収益	6	6		
営業外費用	35	37	2	
経常利益	68	180	112	
特別利益	7		7	
特別損失	32	435	403	棚卸資産評価、除却及び固定資産の減損
法人税、住民税及び事業税	3	62	65	
当期純利益	95	553	457	

20年3月期第2四半期は、平成20年9月26日訂正報告書提出後の数値です。

貸借対照表（非連結）

（単位：百万円）	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	増減	備考
流動資産	2,490	1,841	649	現預金の減少及び売上債権の減少、たな卸資産の増加
固定資産	1,178	946	231	減損及び除却
資産合計	3,668	2,788	880	
流動負債	2,313	2,099	213	短期借入金減少
固定負債	879	795	84	再評価に係る繰延税金負債減少
負債合計	3,193	2,894	298	
資本金	1,205	1,205		
資本剰余金	3	3		
利益剰余金	1,019	1,477	457	
自己株式	3	4	1	
株主資本合計	185	273	458	
評価・換算差額等合計	290	167	122	株式の評価額の減少、土地評価差額金減少
純資産合計	475	105	581	
負債純資産合計	3,668	2,788	880	

20年3月期第2四半期は、平成20年9月26日訂正報告書提出後の数値です。

キャッシュ・フロー計算書（非連結）

(単位：百万円)

	20年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	39	18	57	売上債権の減少及び仕入債務の減少、たな卸資産の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	19	9	10	定期預金の減少、子会社株式の取得
財務活動による キャッシュ・フロー	114	191	306	短期、長期借入による借入減 長期借入金の返済増
現金及び現金同等物の 増加額	55	182	238	
現金及び現金同等物の 期首残高	250	453	203	
現金及び現金同等物の 期末残高	305	271	34	

20年3月期第2四半期は、平成20年9月26日訂正報告書提出後の数値です。

部門別売上高

(単位：百万円)

部門	20年3月期第2四半期		21年3月期第2四半期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減率
インフレーション成形機事業	563	32.1%	450	32.5%	112	19.9%
プロ - 成形機事業	652	37.2%	348	25.2%	303	46.5%
リサイクル装置事業	349	19.9%	410	29.6%	60	17.4%
メンテナンス事業	190	10.8%	176	12.7%	13	7.4%
合計	1,755	100.0%	1,386	100.0%	369	21.0%

インフレーション成形機事業	原料価格の高騰やレジ袋の環境問題もある状況で、一部未検収分第3四半期へ売上繰延
プロ - 成形機事業	自動車生産の減少により、需要が減退傾向の状況で、一部未検収分第3四半期へ売上繰延
リサイクル装置事業	前期より繰延分売上計上
メンテナンス事業	機械修理による売上維持

20年3月期第2四半期は、平成20年9月26日訂正報告書提出後の数値です。

平成21年3月期 業績予想

株式会社プラコ -

(J A S D A Q . 6347)

業績予想（非連結）

（単位：百万円）	20年3月期	21年3月期（予想）
売上高	3,522	3,304
営業利益	2	0
経常利益	64	61
当期純利益	97	437
EPS（円）	12.34	55.63
ROE（%）	52.9	278.7

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 自己資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

20年3月期は、平成20年9月26日訂正報告書提出後の数値です。

経営方針

当社は、インフレーション成形機及びブロー成形機などのプラスチック成形機各種と、環境リサイクル機器の製造、販売を主たる業務として、社会生活の向上と環境保全に役立つ商品を提供する事によって、社会に貢献すると共に、適正利益の確保によりと企業の継続と発展を目指し、さらには、株主への適正配当と従業員生活を安定、向上させることを方針としております。

今期の取り組み

1. 債務超過からの脱却

当第1四半期に、たな卸資産の評価、除却損失及び減損損失を計上した結果、債務超過となりました。この状況を一刻も早く解消すべき次の施策を実施します。

売上高の確保

国内外の業界ニーズに対応すべく、高付加価値、高効率生産、省エネルギー及びクリーンをキーワードとする各事業別の新商品を開発し、それらを展示会へ出品するなどして宣伝強化を図り、商圏の拡大により売上高を確保していきます。

コストの低減

コストの引下げに関しては、合理的設計の強力な推進と生産手段・生産方法の改善など設計、生産工程の現業におけるコスト低減を実行するとともに、海外生産、仕入の増加を図り全社的にコスト低減策を実行してまいります。

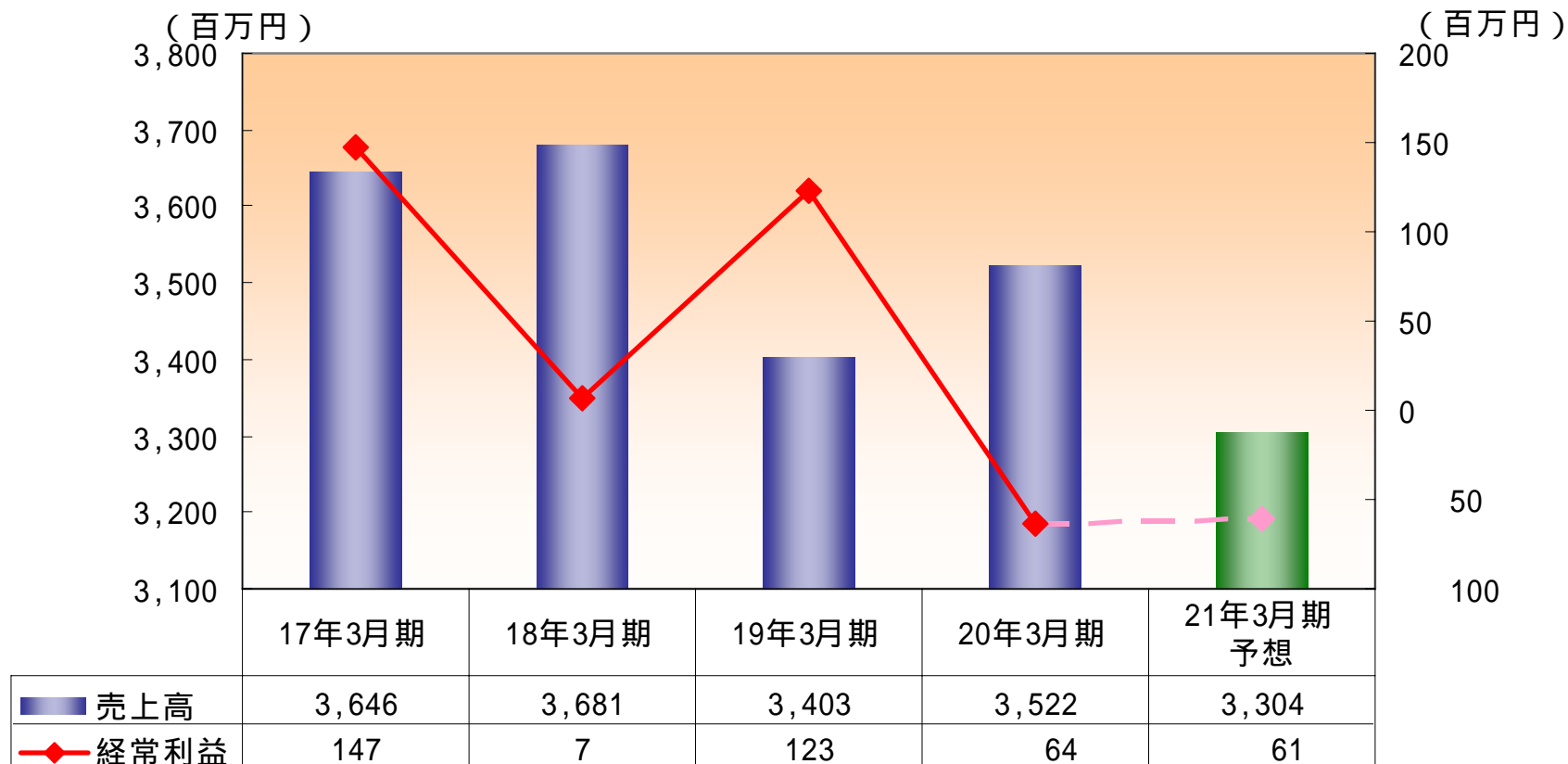
2. コンプライアンスの徹底

平成21年第1四半期報告書の提出遅延の要因となった不適切な会計処理を永続的に再発させないため、代表取締役を含む取締役と従業員が一体となってコンプライアンスの遵守を徹底すべく、システムの構築とその適切な運用に注力いたします。

3. コーポレートガバナンスの強化

社外の内部監査人の選任により、経営状況の透明性と客観性の向上に取り組むことにいたします。

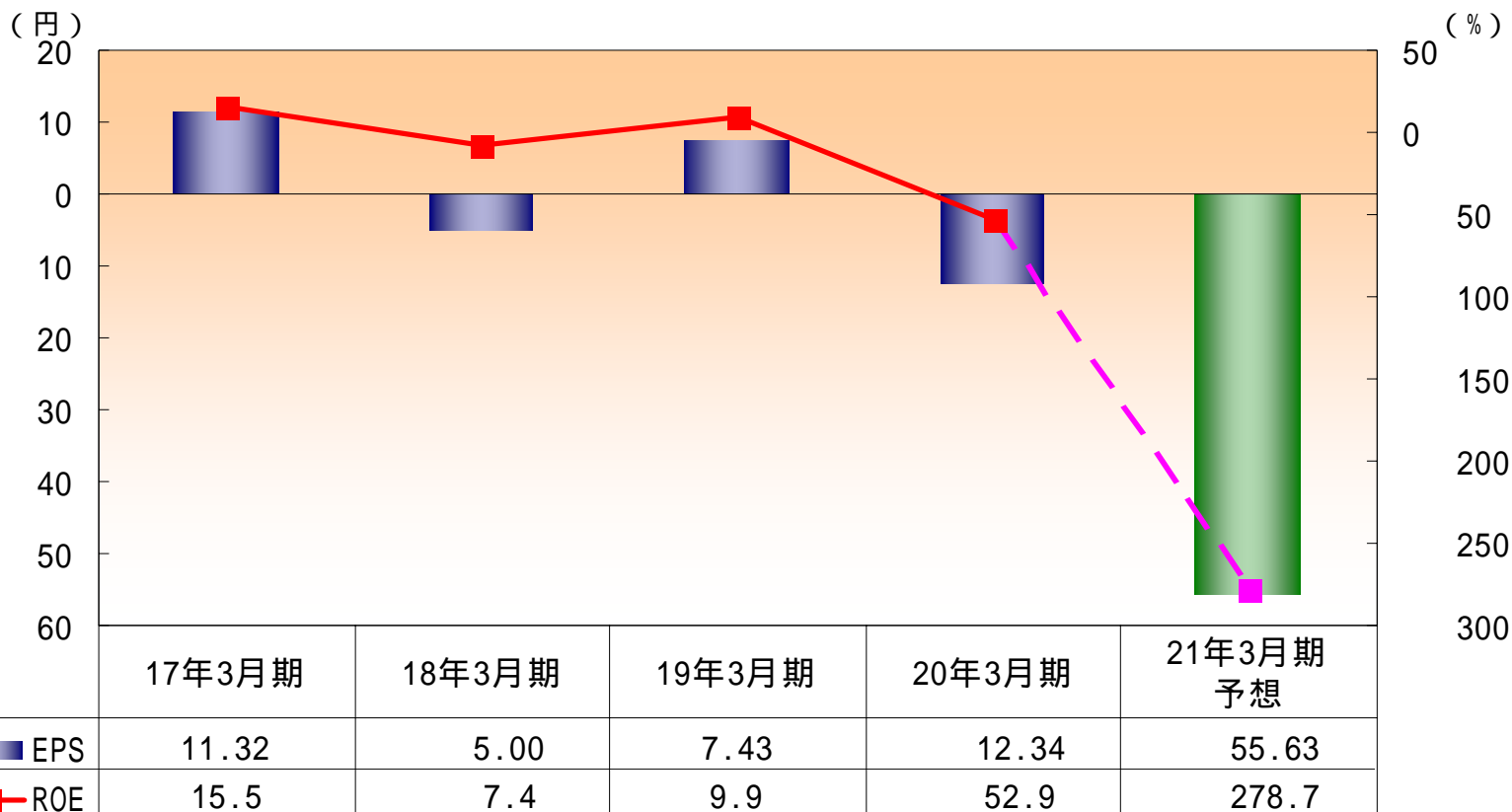
売上高・経常利益の推移（非連結）



上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

17年3月期、18年3月期、19年3月期、20年3月期は、平成20年9月26日及び29日に訂正報告書提出後の数値です。

EPS・ROEの推移（非連結）




EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 自己資本利益率

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

17年3月期、18年3月期、19年3月期、20年3月期は、平成20年9月26日及び29日に訂正報告書提出後の数値です。

 株式会社プラコ -
経理部

TEL : 048-798-0222
E-mail : placo@placo.co.jp